



特集・白血病

より良い治療とより良い治療

参加費 1人 1,000円
※参加の申し込みは不要です

日時：2011年 6月 19日(日) 13時～16時

会場：東京慈恵会医科大学 中央講堂

共催：NPO法人白血病研究基金を育てる会、NPO法人日本臨床研究支援ユニット（JCRSU）、JCRSU・がん電話情報センター

協力：院内患者会世話人連絡協議会（HosPAC）

急性型の白血病の多くが、診断と同時に入院治療が開始し気づけば長い闘病生活に入っています。また、同じ急性白血病とはいえとても多くの病名があり、治療薬と移植法も様々あります。

「白血病はどのような病気か」「多剤併用療法とは何か」「移植治療の基本」「これから先、いつまで治療は続くのか」「根治はあるのか？それはいつか？」など、病態、治療法について基本を理解することは、自身の状態を深く知る上で、またより良い治療選択をする上でとてもたいせつです。さらに移植を選ぶ機会はない病状の人も移植について学び、移植を準備中の人も薬物療法の基本を理解することは、自身の治療にとっても大いに参考になります。

どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出しましょう。講師からの回答やアドバイスを共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんで「疑問解決の1日」としてください。

座長 東京慈恵会医科大学附属第三病院 薄井 紀子 先生

総合司会 NPO法人血液情報広場・つばさ 橋本 明子

I 血液と白血病について知ろう

造血の仕組みと白血病の病態

血液はどのようにして造られるか（造血の仕組み）、白血病とは何か（病態）について学び、さらに臨床試験とは患者にとってどのようなことか、また標準治療の「標準」、あるいはエビデンスの意味について解説いただきます。

東京慈恵会医科大学附属第三病院 薄井 紀子 先生

II 白血病の治療と<その後>について学び、考えよう

1) 急性白血病の治療 —化学療法、造血幹細胞移植の実際とその選択—

急性白血病の治療ではまず化学療法が行われますが、状況に応じて造血幹細胞移植が選択されます。ここでは、両者の治療法の実際と治療成績、治療選択における考え方などについて、最新の臨床データを含めて解説いただきます。

杏林大学病院 高山 信之 先生

2) 小児白血病治療における晩期障害軽減に向けて

a) 小児急性リンパ性白血病の新統一プロトコールにおける予防的頭蓋照射の全廃について

日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG) 急性リンパ性白血病委員会委員長 / 中通総合病院 渡辺 新 先生

b) 小児白血病治療における認知発達への影響とその対処法

子どもの治療が大人と違うのは、子どもの成長過程で化学療法と放射線療法を行うことです。そのために治療後にでてくる影響もあるわけですが、今回は学校生活でお重要な認知機能に焦点を当て、影響の仕方とその対処法についてお伝えします。

国立成育医療センター臨床研究センター 船木 聡美 先生

III 闘病生活での様々な支援

1) 移植中、通院化学療法中の感染症対策ほか、闘病へのアドバイス

移植看護ネットワーク / 国立がん研究センター中央病院 荒木 光子 さん

2) より良い生活とより良い治療のために 早期からの緩和ケア

辛い治療をじょうずに乗り越えるために、緩和ケアの基本的考え方をうかがいます。

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科・精神腫瘍科 的場 元弘 先生

より良い闘病のために・・・何でも訊こう 講師全員

会場全体とのQ&A



ブリistol・マイヤーズ株式会社、ノバルティス ファーマ株式会社、協和発酵キリン株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、日本新薬株式会社、セルジーン株式会社、株式会社ヤクルト本社、バイエル薬品株式会社、富士フィルムRI株式会社

血液がんの治療、闘病生活などについての疑問・質問・ご相談の受付 詳細は裏面に

一般問い合わせ / NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月～金 12時～17時)

後援：日本成人急性白血病研究グループ JALSG

会場案内図／東京慈恵会医科大学

住所：東京都港区西新橋 3-25-8

TEL：03-3433-1111

■地下鉄

- ・都営三田線

御成門駅	A5 出口から徒歩	約 3 分
内幸町駅	A3 出口から徒歩	約 10 分
神谷町駅	3 番出口から徒歩	約 7 分
虎ノ門駅	1 番出口から徒歩	約 10 分
新橋駅	8 番出口から徒歩	約 12 分
大門駅	A2 出口から徒歩	約 13 分
霞ヶ関駅	C3 出口から徒歩	約 13 分
- ・日比谷線
- ・銀座線
- ・銀座線・都営浅草線
- ・都営浅草線・都営大江戸線
- ・丸の内線・千代田線・日比谷線

■JR

- 新橋駅下車 徒歩 12 分

■バス

- 東京駅丸の内南口(目黒駅経由)
- 等々力…慈恵会医大前または愛宕山下下車
- 目黒駅…新橋駅…御成門下車

つばさフォーラムでの質問（相談） ※フォーラムへの参加申し込みは不要です

○A4 以下の紙 1 枚に書いて順次送って下さい（送付開始はいつからでも。締め切りは6月17日必着まで。過ぎた場合は他の会場のQ&Aで応答されます。ただ、会場への不参加の方に回答やアドバイスを郵送やファックスでお送りすることはできませんのでご了承ください）。

○個人的な質問でも、一般的な質問でも、どちらでも受付けます。内容によって「個別相談の方が良い」と判断された場合は、会場においでの方の講師のどなたかに対応していただきます。

※講師のご指名はできませんので予めご了承ください。

FAX 送付 03-3203-2570

郵便送付 162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 5 3 3

早稲田大学前郵便局々留

NPO 法人血液情報広場・つばさ

①病名

②患者さんの性別と年齢

③ご質問（具体的に。ただし、漏洩が起きないように努めますが、病院名と医師名は書かないでください）

④ご相談者さんのお名前（会場に見える方。患者さんとの関係）

※他に漏らしません。質問内容を確認するためです

⑤ご連絡先電話番号（必須。質問内容を確認させていただくためです）

⑥フォーラム参加予定会場（例 新潟 大阪 など）

※上記質問は、全体会・講演、疾患別Q&A、全体会Q&A、場合によっては個別相談などで対応されます。みなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なこと…」などと思わず質問を送って下さい。

案外たくさんの方が共通の疑問や不安を持っているものです。

※病気の理解、いつ移植を選択するか、再発したのだが再寛解導入の可能性、など。ほかに治療についてだけでなく、退院後の生活、家族の問題（夫婦生活は可能？ 気持ちを理解されない等）、治療後いつから赤ちゃんを授かれる？セカンドオペニオンの切り出し時、就職活動、学校での生活、結婚を前に不安…、なんでもこの際、どうぞ。

お問い合わせ

NPO 法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503（月～金 12 時～17 時）

がん全般について

がん電話情報センター

0570-055-224

治療費の助成について

つばさ支援基金

0120-711-656